

## 農地中間管理事業評価委員会の意見について

### 1 開催時期及び手法

令和4年6月3日(金) 13:15~15:15

(公財)三重県農林水産支援センター研修室から各委員とオンラインによる会議

### 2 評価委員の氏名等

所属・役職	氏名
三重大学大学院 准教授	中島 亨
三重県担い手ネットワーク代表	大野 博司
三重県稲作経営者会議会長	岡本文洋
税理士・農業経営アドバイザー	濱口勝志
司法書士・行政書士	鈴木尚文
三重県中央農業改良普及センター 所長	竹田久夫

### 3 議事事項

- ・令和3年度事業実施状況と今後の対応について（報告）
- ・報告に対する意見及び評価

### 4 評価委員会の意見等

#### (1) 令和3年度事業の実績について

令和3年度は、当評価委員会で出された意見に適切に対応いただくとともに、関係者の尽力により、農地中間管理事業による農地の貸付目標面積の700haを達成（実績：726ha、達成率104%）したことを非常に高く評価する。

一方で、契約期間が満了となった農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への切替率が目標の70%に対し、48.3%と低いことや、過去の目標面積の累計に対する実績では目標には到達していないこともあり、今後も継続して累積面積の目標を見据えながら、関係機関と連携し取り組んでいく必要がある。

#### (2) 今後の推進に向けて

農地利用集積円滑化事業からの切替に一層取り組むとともに、農地基盤整備事業の動向も把握いただきながら、目標達成に向けて継続して取

り組んでいただきたい。

また、市町の目標地図の作成などにより情報の共有化、デジタル化が一層推進され、これまでにない多くの農地の情報が高頻度で更新されることが見込まれることから、そういった情報をしっかり分析・活用し、今後の農地の集積・集約につなげていただきたい。

さらに、農作業受委託に関しては、内容的にもまだ流動的なところがあるため、国等の情報を逐次共有し、農地の集積につなげていただきたい。